

市立福知山市民病院整形外科もしくはリハビリテーション科において、膝の痛みに対して受診、入院された患者様・ご家族の皆様へ

身体性（身体の感じ方の変化）に関わる疼痛メカニズムの検証へのご協力をお願い

今回、市立福知山市民病院整形外科とリハビリテーション科は身体性（身体の感じ方の変化）に関わる疼痛メカニズムを検証することを実施いたします。そのため、過去またはこれから市立福知山市民病院整形外科とリハビリテーション科で膝の痛みに対しての受診、入院される患者様に関して調査させていただきたいと考えています。

【研究の目的】

2016 年に国際疼痛学会にて痛覚変調性疼痛という新しい痛みの概念が発表されました。この痛みがある患者様の 1～2 割の方が、この痛みを持っていると考えられています。この痛みがある方では、身体の感じ方に変化（例えば、自分の膝が他人の膝であるように感じる）が生じると考えられていますが、まだ十分な見解が得られていないのが現状です。本研究では、身体の感じ方の変化に関わる疼痛メカニズムを明らかにすることを目的とします。

【対象となる患者様について】

令和 4 年（2022 年）11 月 1 日～ 令和 8 年（2026 年）3 月 31 日に当院で膝の痛みに対して受診、入院された患者様が対象です。

【方法について】

対象となる患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。対象患者様の基本情報と臨床情報を抽出します（以下の①～⑧）。質問紙（アンケート調査）を含みますが、これは治療方針を決定する際に、普段から使用させていただいているものであるため、別途答えていただく必要はありません。抽出された情報は、個人情報进行消去し匿名化されます。

- ① 参加者の基本情報: 年齢, 性別, 身長, 体重, 疾患名, 罹患期間
- ② 疼痛強度: Numerical Rating Scale
- ③ 神経障害性疼痛: PainDETECT Questionnaire
- ④ 痛覚変調性疼痛: Central Sensitization Inventory
- ⑤ 身体知覚異常: Fremantle Knee Awareness Questionnaire
- ⑥ 痛みの破局的思考: Pain Catastrophizing Scale -short forms
- ⑦ 能力障害の程度: Knee injury and Osteoarthritis Outcome Score
- ⑧ 身体性 (7point -Likert scale): 身体所有感, 運動主体感

【資料の管理について】

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧は可能です。ご希望の方は下記の連絡先までご連絡ください。ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、いつでも下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、同意を取り消された時にすでに研究の解析結果が出ており、論文投稿中あるいは公表されていた場合には、対応できないことがございます。特に、申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。本研究は、市立福知山市民病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

【研究の実施体制】

研究責任者：市立福知山市民病院 リハビリテーション科 理学療法士 田中智哉
市立福知山市民病院 整形外科 医師 神谷阿久里

【連絡先】

市立福知山市民病院 リハビリテーション科
理学療法士 田中 智哉 電話：0773-22-2101（代表）